令和６年度 第２学期始業式式辞

無事、２学期始業式を迎えることができました。

心配をしていた台風10号は、私たちの生活圏ではあまり被害はなかったと思いますが、全国では亡くなられた方、大きな被害が出ているところもあります。あらためて皆さんとともにお見舞いを申し上げたいと思います。

さて、今年の夏はこれまでになく暑く、全国で水難事故も多く起こりました。

８月８日には九州日向灘を震源とするM7.1、最大震度６弱の地震が発生。この地震を受けて、気象庁から「南海トラフ臨時情報（巨大地震注意）」が発表され、戸惑った人もいたのではないでしょうか。また、家族内での備蓄やいざというときの連絡方法を確認した人もいると思います。臨時情報は一週間で解除されましたが、南海トラフを含む東南海地震が近い将来に発生することには変わりありません。年々発生確率が高まっています。いつ発生するか、５年先、10年先・・・50年も先ではないでしょう。その頃、皆さんの年齢は分かりませんが、間違いなく若い世代であることに違いありません。一方、私なんかは老人の仲間入りをして、災害弱者になっているかもしれません。君たちは、それぞれの地域において頼られる立場です。そのことを自覚して、日頃からいざというときにはどう対応すればいいか、災害に対する意識を高めてください。

１学期の終業式でも触れましたが、パリ五輪が終了し、パラリンピックが始まっています。オリンピックでの日本選手の活躍振りは皆さんも承知のとおりです。時間を惜しまず、厳しい練習に取り組み、世界の舞台で闘う姿には、勝ち負けにかかわらず、多くの感動をもらいました。

ただ、残念なことに、今回のオリンピックでクローズアップされたのが、ＳＮＳ上での心ない誹謗・中傷の多さでした。誹謗・中傷って、どんな人が、どんな心理状態で行うのでしょうか。

私が考えた特性は次の４点です。

①責任感がなく、匿名性の強さを悪用する人（状態）

匿名性が強いから、自分は守られ、無責任な発言も咎められることがないといった誤った安心感もつ人の行為

②相手を思いやる想像力が欠如している人（状態）

他人の感情に鈍感で、本質を探ろうともせず、自分の感情を瞬間的に結論づけて発信し、オリンピックで言えば、時間をかけ、努力を積み重ねてきたことへの思慮が乏しい人の行為

③自分の優位性を示したい願望が強く、ストレス発散がうまくできていない人（状態）
攻撃的な言葉を投げかけることでストレスを発散しようとし、他人を見下すことで優越感を得ようとする、いわゆるマウントをとることを楽しみ、自尊心を満たそうとする人の行為
④自分の人生と真剣に向き合おうしていない人（状態）
「わからない」「面倒くさい」「自信がない」「特に理由はない」などを理由に自分の人生に向き合うことを避け、他者の人生に対する思いも乏しいが故に、知らない人の人生に口をだし、攻撃することで今の自分を正当化してしまっている人の行為

これらの状態は決して、いい状態ではありません。これとよく似た言動は、学校においては「いじめ」につながる行為とも言えます
何か気にいらないことがあれば、「うざい」「うっとおしい」「消えてほしい」などといった発言をしたり、ＳＮＳ上に書き込んだり、特定の人を避けたりするなど・・・こうした言動をとる人は、先の誹謗・中傷する人の状態に近いものがあり、心配でもあります。

中Ⅰから高Ⅱまでの人はすでにプリントが配布され、高Ⅲの人は本日配布されると思いますが、令和元年の夏に、当時中２の女子生徒からの訴えによって発覚した、本校でのいじめ事象に関わっての現状をお知らせするものです。
このいじめ事象では、先生方は関係生徒への指導・ケア等を行いましたが、被害生徒の十分なケアに至らず、長期の不登校となり、本校での学校生活をあきらめ、他の高校に進学せざるを得なくなりました。そして、法律で定められた「いじめ重大事態」となってしまいました。
以来、本校では、その対応を反省するとともに、先生方全員で二度と「いじめ重大事態」を発生させないために様々なことに取り組んできています。不安なことがあれば、先生方に安心して伝えることができる体制をとっています。訴えに対して丁寧に対応する準備もできています。
何よりも、いじめをなくそうとする学級・学校の雰囲気づくりが大切です。そのためにも、一人一人が「自分の人生を考え、向き合い、今ある人生を真剣に生きる」ことを大切にしてほしい。そして、「周囲の人に目を向け、相手の気持ちを考え、コミュニケーションをしっかりとる」ことを心がけてほしい。
ぜひ、そうした雰囲気の中で、「ＡＬＩＶＥ」がテーマの文化祭を、君たち一人一人の手で、みんなの協力のもとで成功させてほしい。また、中学体育祭

もそうであってほしい。

高Ⅲの皆さん、夏を制しましたか。制したかどうかは別として、受験に向けて真剣に取り組んでいると思います。まさに、君たちは自分の人生と真剣に向き合っています。そのことを誇りに思い、自信をもって来たる日まで頑張り続けてください。

最後に、一つ報告があります。
北中先生が８月31日をもって、一身上の都合により退職をされました。これまで担任として、数学の授業や部活動指導等において、まじめに丁寧に取り組んでいただきました。突然のことで、特に中３生や野球部の皆さんには、戸惑いもあり、迷惑をかけることになりますが、今回の退職は、先生自身が自分のご家庭や人生に向き合って決められたことです。私たちはその決断を尊重するしかありません。また、このことで不安なことがあれば先生方に遠慮無く相談してください。
なお、北中先生の後任等についてはこの後教頭先生から報告してもらいます。

二学期は長丁場です。体調に留意して、自分の人生に向き合いながら意義ある学校生活を送ってくれることを期待して、私の話を終わります。

以上